

菘医療圏地域医療構想調整会議（令和7年度第2回）議事概要

【日 時】 令和8年2月18日（水） 19：00～19：55

【場 所】 菘市地域医療連携支援センター 大会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、2つの医療機関を継続して選定した。
- 都志見病院の非稼働病棟の状況と今後の見通しについて説明を行った。
- 新たな地域医療構想の策定及び医療計画の中間見直しについて説明を行った。

1 令和7年度紹介受診重点医療機関の選定について

県医療政策課から、紹介受診重点医療機関の選定について説明を行った。
協議の結果、都志見病院及び菘市民病院を継続して選定した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

2 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、菘医療圏の非稼働病棟である都志見病院の58床について、非稼働の理由を看護師の不足、今後の運用見通しを将来の地域の医療需要の動向等を踏まえ、病床廃止を検討する旨の報告があった旨、説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 資料中「病床廃止（返還）」と記載があるが、これは具体的に廃止なのか返還なのかどのようにされる予定なのか。

⇒ 将来の地域の医療需要の動向等を踏まえ、今後、具体的に検討されるものと承知している。

3 新たな地域医療構想の策定及び医療計画の中間見直しについて

県医療政策課から、新たな地域医療構想の策定及び医療計画の中間見直しについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

○ 新たな地域医療構想では、医療と介護の連携が重要であるが、医療と介護の間で宙に浮いてしまう利用者が出ないよう、どのような形で推進していくか。

⇒ 医療と介護の連携は、地域包括ケアの中で、関係各位の御協力を得ながら推進してきたところだが、2040年に向け、医療と介護の複合ニーズを有する高齢者の増加など、状況が変化しており、その重要性がさらに増してくるのはお見込みのとおり。

具体的な連携のあり方としては、ICTの利活用による情報共有や、医療関係者と介護関係者の顔が見える関係の構築などが考えられるが、医療と介護がそれぞれの分野のことにのみを考えるのではなく、全体として県民、住民の医療・介護ニーズに対応していくことが重要である。

行政においても、医療所管部署と介護所管部署が連携していくことが必要であると認識している。

皆様方には、今後とも御協力を賜るよう、よろしく願います。